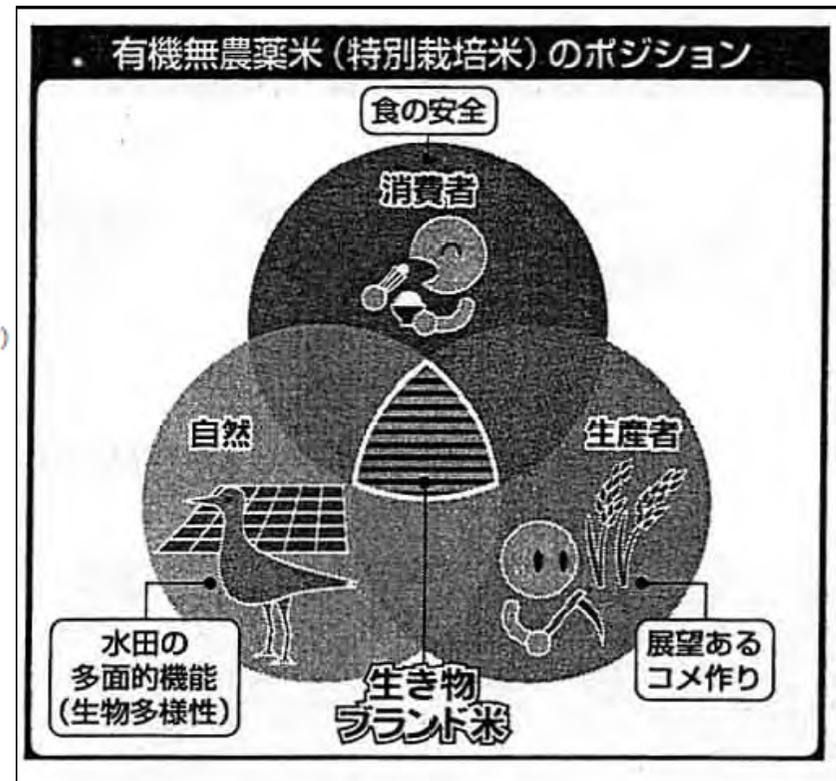
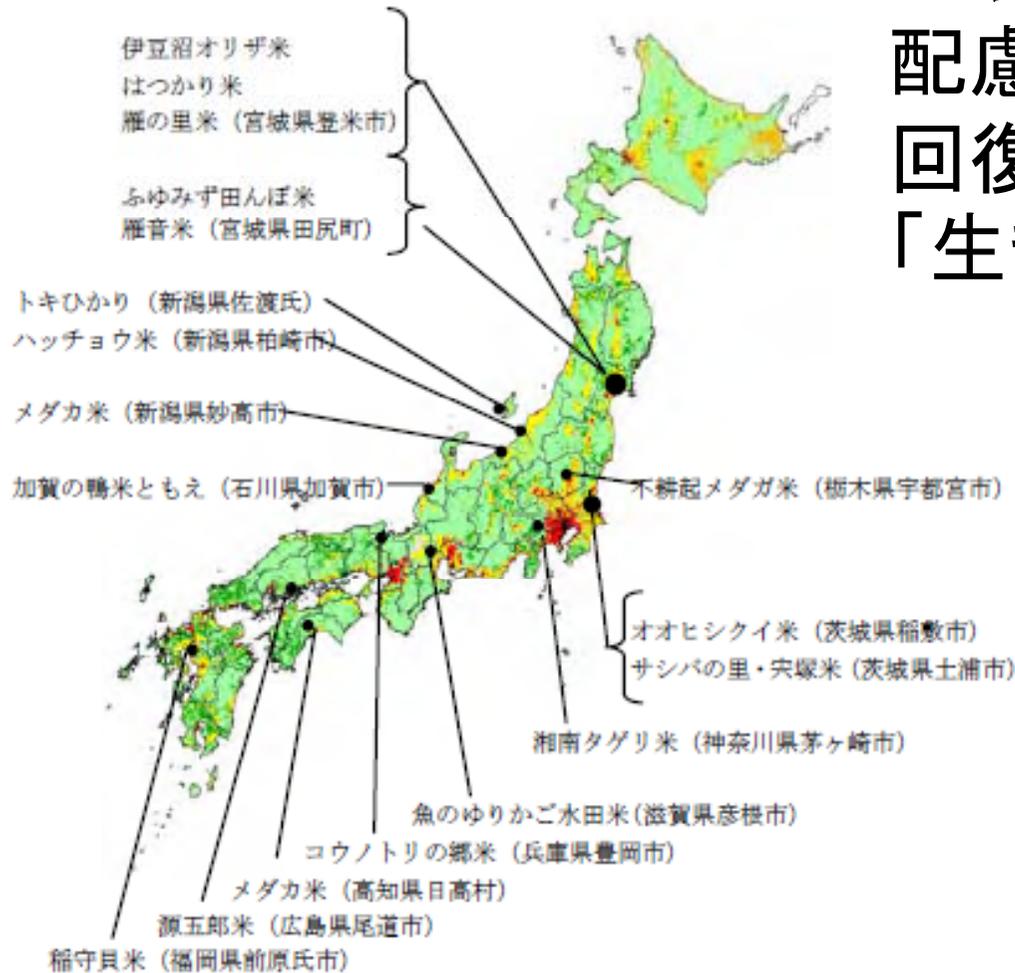


生きものブランド米

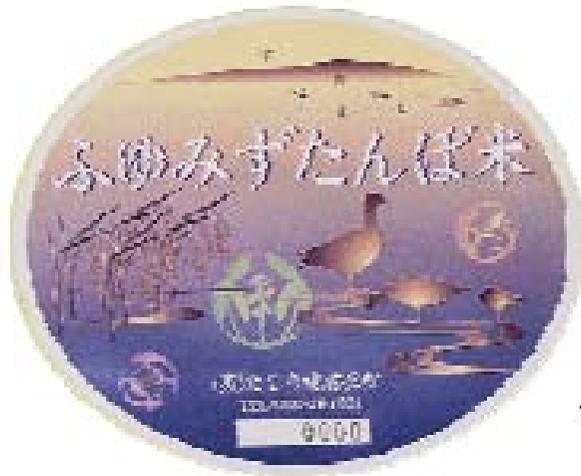
(2006年度第3回生物多様性国家戦略懇談会資料から抜粋・要約)

農家が田んぼの生態系に配慮し、ご当地の生きものを回復させることを目的として、「生きものブランド米」を生産。



宮城県蕪栗沼「ふゆみずたんぼ米」

(2006年度第3回生物多様性国家戦略懇談会資料ほかから抜粋・要約)



- 蕪栗沼はマガンやヒシクイなどの重要な越冬地。
- 蕪栗沼の周辺水田において冬期に水を張り、安全なねぐらを提供。
- 収穫前の稲への食害に対し、その一部を条例により補償。
- 2005年、水田を含めラムサール条約湿地に登録。

新潟県佐渡「トキひかり」

(2006年度第3回生物多様性国家戦略懇談会資料から抜粋・要約)



- 耕作放棄された水田を地域住民とボランティアの協働により再生。
- ドジョウ、サワガニなどの餌生物が棲めるよう農薬を使わない米作りを実施。
- そこで生産された米を「トキひかり」として販売。

兵庫県豊岡「コウノトリの郷米」

(2006年度第3回生物多様性国家戦略懇談会資料から抜粋・要約)



- コウノトリの野生復帰をめざし、「コウノトリを育む農法」を実施。
- 農閑期に水田に水を張り餌場としたり水路を改良し餌生物が棲みやすい環境を整備。
- 副次的に害虫を捕食するカエルなどが増え、農薬の使用を抑制。